

港湾の整備

「持続的な経済成長の実現」、「国民の安全・安心の確保」、「個性をいかした地域づくりと分散型国づくり」を3本柱とし、ハード・ソフト一体となった総合的な防災・減災対策、人口減少社会においても持続的な経済成長の実現を強力に推進していきます。

令和6年度代表事業

地域の基幹産業の競争力強化のための港湾整備

名古屋港飛島再編整備事業（飛島碼頭地区）

コンテナ貨物取扱量の増加、船舶の大型化に対応するため、既存施設の老朽化対策・耐震対策とあわせて、岸壁の水深を12mから15mに増深改良します。
※令和4年10月一部供用



名古屋港飛島碼頭地区

四日市港震ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業

コンテナ貨物取扱量の増加、船舶の大型化に対応するとともに、サプライチェーンの強靱化、災害対応能力の強化を図るため、水深14mの耐震強化岸壁を整備します。



四日市港震ヶ浦地区

清水港新興津地区国際物流ターミナル整備事業

輸入バルブやコンテナ貨物取扱量の増加、船舶の大型化に対応するため、水深15mの耐震強化岸壁を延伸します。



清水港新興津地区

津波・高潮に備えた港湾海岸の整備

四日市港海岸直轄海岸保全施設整備事業

南海トラフ地震等の大規模地震に伴う津波や高潮などの自然災害発生時に背後地域の人命・財産を守るとともに、地域経済への被害を防ぐため、耐震対策とあわせて海岸保全施設の改良を実施します。



四日市港海岸（石原・塩浜地区）

各港の主要事業



インフラ老朽化対策の推進

港湾・海岸老朽化対策（管内各港）

将来にわたるその機能を発揮できるよう予防保全型の維持管理を取り入れ、ハード・ソフト両面から計画的、総合的な港湾施設・海岸保全施設の老朽化対策を推進します。



棧橋式岸壁の老朽化状況と対策

粘り強い構造への改良

防波堤の改良事業（清水港、御前崎港、衣浦港）

港湾及びその背後地を防護する取組として、大規模津波等に対して減災効果のある「粘り強い構造」を取り入れた防波堤の整備を推進します。

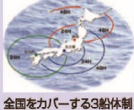


粘り強い構造の防波堤（清水港）

国民の安全・安心の確保

浚渫兼油回収船「清龍丸」

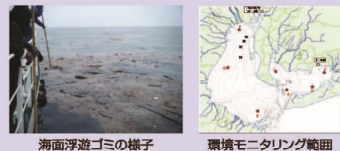
大型浚渫兼油回収船「清龍丸」は、名古屋港の浚渫、海洋への油流出時の油回収及び災害時支援の役割を担っています。油流出時には、国内に配備している3船「清龍丸（名古屋港）」、「海翔丸（北九州港）」、「白山（新潟港）」により、海上保安庁からの出動要請に基づき、出動後概ね48時間以内で本邦周辺海域の現場へ到着し、迅速かつ確実な作業を実施できる体制を確立しています。



全国をカバーする3船体制

海洋環境整備船「白龍」

海洋環境整備船「白龍」は、伊勢湾において船舶航行の安全性確保及び海域環境を保全するため、流木等の海面浮遊ゴミ回収、油回収及び環境モニタリング調査を実施しています。



海面浮遊ゴミの様子 環境モニタリング範囲

個性をいかした地域づくりと分散型国づくり

産地と港湾が連携した農林水産物・食品の輸出促進

成長著しい海外の食産業を巨大市場と捉え、港湾を通じた農林水産物・食品の輸出を促進するため、港湾管理者・民間事業者に対してコールドチェーンを維持した輸送を可能にする施設整備への支援や、輸出促進に向けた課題や対応策の検討、情報の共有等を図る場として、生産者、港湾関連事業者、行政機関等が参画する連絡会議を開催するなど、産地と港湾が連携した農林水産物・食品の輸出機能強化に取り組んでいます。

産地と港湾が連携した農林水産物・食品の輸出機能強化



大規模災害発生時の航路啓開

大規模災害が発生した際は、海上からの緊急支援物資輸送ルートを確認するため、関係機関との広域連携体制により、伊勢湾内の開発保全航路・緊急確保航路の啓開を迅速に実施します。

航路啓開の実施



浮遊物・障害物除去作業



コンテナ撤去作業



伊勢湾における緊急確保航路等航路啓開計画

「みなと」を核とした魅力ある地域づくり

みなとオアシスや港湾協働団体制度を通じて、地域住民の交流や観光の振興による地域の活性化、訪日クルーズ旅客の受入れなど多様なニーズに対応し、「みなと」を核とした魅力ある地域づくりを促進します。



とび 鳥羽マリンターミナル



御前崎 外国クルーズ船初寄港



伊勢 御前崎船政記念祭



田子の浦 田子の浦港漁協食堂